

高校生コラボ、商品改良

五城目町で手焼きせんべい店「イトマン元氣村」を運営する伊藤萬治郎さん(84)が、地元の五城目高校と秋田市の金足農産高校の両生徒の協力で商品をリニューアルし、PRに力を入れている。原料のコメを金足農産高生が栽培したあきたこまち「金農米」に替え、パッケージも生徒のアイデアで刷新した。

五城目・せんべい店「イトマン元氣村」

リニューアルしたの
は、伊藤さんがせんべい
店を始めた2017年か
ら手作りしている「しよ
うゆせんべい」(5枚入
り、500円)と、五城
目高生のアイデアで昨年
商品化した「にんにくせ
んべい」(5枚入り、6
50円)の2種類。
以前の原料は生産者を
特定していない県産米だ
ったため、「生産者の顔
が見えるコメを使いたか
った」と伊藤さん。友人
の橋渡しで金足農高との
連携が実現し、原料を全
て金農米に切り替えた。
シンプルだった商品パ
ッケージも、両校の生徒



金農米を使用し、生徒のアイデアでパッケージも改良したイトマン元氣村の手焼きせんべい

が改善を検討。せんべい「す」とのキャッチコピーの良さがより伝わる装いを入れた。伊藤さんは、このパッケージデザインを取り入

五城目、金足農協力 原料に金農米、包装も刷新

リニューアルを果たしたせんべいは、4月下旬に両校の生徒が五城目の朝市で販売する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け中止に。現在、せんべいはイトマン元氣村(五城目町富津内下山内)、道の駅五城目、イオンスーパーセンター五城目店で買うことができる。
伊藤さんは「売れ行きは以前よりいい。改良に協力してくれた生徒たちに成果を感謝してもらっ



五城目、金足農両高校の生徒が新しいパッケージを考えた検討会＝2月、五城目高校(同校提供)

手焼きせんべいを販売する伊藤さん。新しいパッケージに合わせたのほり旗も作った



たのぼり旗も制作。商品改良や価格設定については県総合食品研究センターの助言も得た。
リニューアルを果たしたせんべいは、4月下旬に両校の生徒が五城目の朝市で販売する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け中止に。現在、せんべいはイトマン元氣村(五城目町富津内下山内)、道の駅五城目、イオンスーパーセンター五城目店で買うことができる。

今月1日には、金農米

を使ったせんべい汁用の素焼きせんべい(350円)も発売。スープなどに入れば、焦げ目の香ばしいコメの味が楽しめる。
「つゆのある麺料理に入れるのもお勧め。カップ麺のそばやうどんに入れてもいい」と伊藤さん。
問い合わせはイトマン元氣村 ☎0880・28820・0746
(嶋崎宏樹)